

産業廃棄物処理計画書

平成31年6月28日

島根県知事 殿

提出者

住所 出雲市稗原町4580-1

氏名 有限会社 ヒラオカ

代表取締役 平岡 聖輝

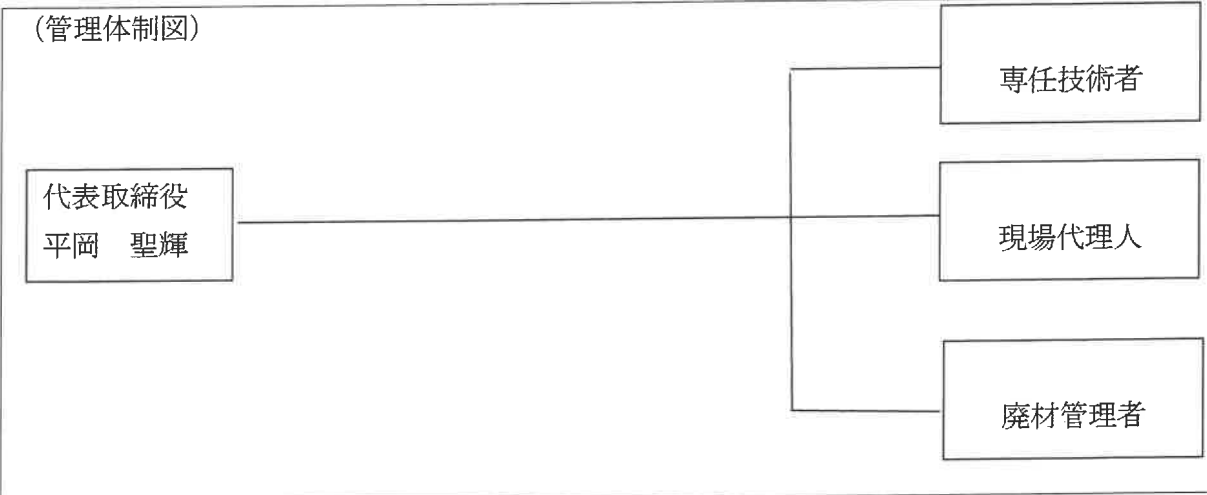
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0853-48-2600

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 ヒラオカ
事業場の所在地	出雲市稗原町4580-1
計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	職別工事業
② 事業の規模	700万
③ 従業員数	30人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>・産業廃棄物発生→収集・運搬→処分(処理業者)</p> <p>各現場→自社運搬・委託運搬→中間処理→再生利用</p> <p>↓</p> <p>最終処分</p> <p>産業廃棄物 汚泥・廃油・廃プラ類・紙屑・木屑・金属屑・ガラス屑等・がれき類 石綿含有産業廃棄物等</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別紙参照	
① 現状	排出量	10550.44 t	t
	(これまでに実施した取組) 現場内での分別解体の徹底に努める。 受入可能な限り再資源化施設への搬入をする。 廃棄物処理委託先での中間処分量を増やし減量化に努め、 最終処分量を減らす。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※別紙参照	
	排出量		t
	(今後実施する予定の取組) 上記事項の継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリート殻、アスファルト殻、木屑、廃プラ類等各現場にて、 種類ごとに分別、石綿含有産業廃棄物についても他の廃棄物に混入し ないように分別、保管を実施。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記内容を実施予定

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ ）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別紙参照	
	全処理委託量	10550.44 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	515.96 t	t
	再生利用業者への処理委託量	10034.48 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選び、書面による契約を実施。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※別紙のとおり	
	全処理委託量	3500 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	416 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3084 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>可能な限り優良認定処理業者から選定をし、再生利用が可能である廃棄物については、再生利用業者へ処理委託する。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

現状 平成 30 年度排出量実績				計画 令和元年度			
廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定業者処理委託量	再生業者処理委託量	廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定業者処理委託量	再生業者処理委託量
廃プラ類	404.22	404.22		廃プラ類	350	350	
紙屑	1.5	1.5		紙屑	1	1	
木屑	90.84	79.68	11.16	木屑	55	50	5
金属屑	1349.18		1349.18	金属屑	1300		1300
ガラス・陶磁器くず	30.56	30.56		ガラス・陶磁器くず	15	15	
石膏ボード	38.94		38.94	石膏ボード	10		10
がれき類	140.95		140.95	がれき類	110		110
コンクリートがら	7986.61		7986.61	コンクリートがら	1500		1500
アスファルト屑	134		134	アスファルト屑	50		50
管理型混合廃棄物	3		3	管理型混合廃棄物	2		2
水銀使用産業廃棄物	71		71	水銀使用産業廃棄物	40		40
建設系混合廃棄物	299.64		299.64	建設系混合廃棄物	67		67
合計/ t	10550.44	515.96	10034.48	合計/ t	3500	416	3084